

松前町

No.89

2016年5月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

3月定例会

議会だより

松前町立
松前小学校

入学式式場



2P 平成28年度予算決定 誇れるライフタウンを目指す

6P～委員会ニュース おしゃれなまちづくりに向けて ほか

14P

一般

質問

- ・給食センターの民間委託でどんなメリットが
- ・学校給食の一部民営化は
- ・公会計制度への取組と有用性は
- ・JR北伊予駅周辺の活性化

ハイ、ポーズ!

楠本莉愛ちゃん親子

99億1224万円

ライフタウン』を目指す新町長体制のスタート

特別会計77億4904万円 水道事業会計7億8746万円

総額184億4874万円の走り出し



3月定例会

3月議会定例会は、3月2日から18日までの17日の会期で開催した。
予算関連議案は、予算決算常任委員会で3日間の審査を行ない、最終日の本会議で賛成多数により可決した。
今定例会では、理事者提出の報告1件、条例、予算などの議案28件、最終日に追加議案3件、人事案件2件について同意、他の議案についても慎重な審議の結果、いずれも原案どおり可決した。（追加議案は、P.11を参照）

町民一人あたり
の支出額 **31万9989円**
平成28年2月末人口 3万976人



●平成28年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の在高状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債(借入金)在高	108億1272万円	見込額
	34万907円	町民一人あたり
基金(貯金)在高	18億4257万円	見込額
	5万9484円	町民一人あたり

支出

人件費、物件費、扶助費の増加や国体関係経費などと、大型事業のほか、特別会計への繰出金も財政を圧迫することになり財源不足の要因となっている。
このため平成28年度は、前年度にも増して既存の経費などを更に創意工夫により節減に努める。選択と集中によって限られた財源を真に必要な事業に重点配分し、効率的に事業展開していく事を重要視した歳出予算である。

収入

自主財源の主たる町税は、前年比5.9%増の43億3千万円を見込み、地方消費税交付金は一定の伸びが予測される。
反面、普通交付税は、税などの増収に伴い減額が見込まれているため予算を許さない状況となっている。こうした財源不足に対応するため可能な限り地方債を充当することにも財政調整基金から1億5千万円を繰り入れた歳入予算である。





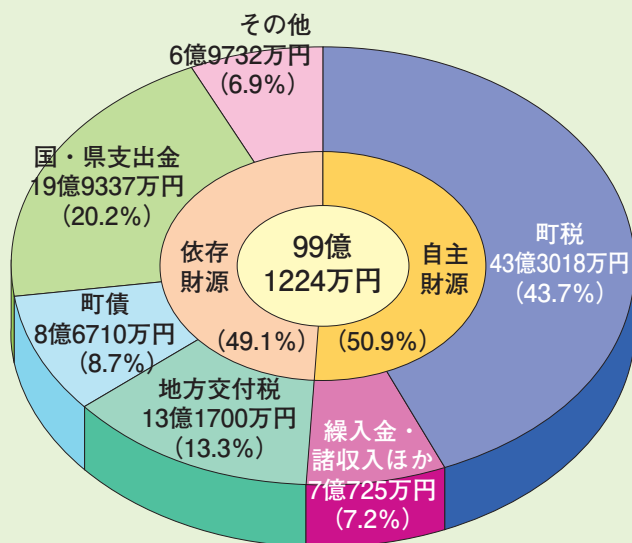
一般 会計

28年度予算

前年比7.1%増で『誇れる』

※グラフ中1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

収入

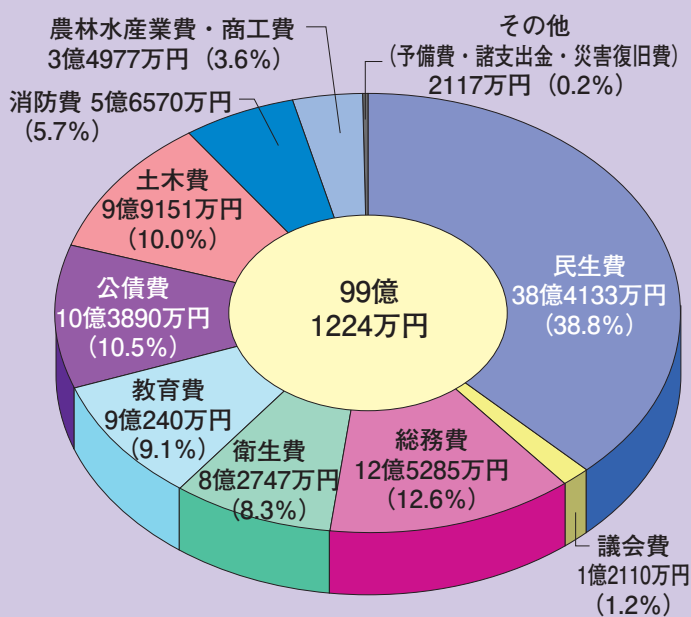


自主財源：町が自前で賄うことができる財源

依存財源：国や県の補助金や借金に頼る財源

町税	住民が納める税金
繰入金	町の貯金を下ろして使う金額
交付金など	消費税やガソリン税などから地方へ配分される金額
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
町債	自治体の財源不足を補うための借金

支出



民生費	障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、福祉医療、国民年金などの事業に要する経費
議会費	議会活動に要する経費
総務費	人事、企画、財政、戸籍、統計や交通安全など、他部門に分類されない事業に要する経費
衛生費	成人老人保健、母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業に要する経費
教育費	学習教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費
公債費	町債（町の借金）を返済する元利償還金（元金と利子）と一時的な借入をした場合の支払利息
土木費	道路、公園や区画整理などの事業に要する経費。下水道事業特別会計への支出も含む。

～クローズアップ 28年度 どうかわる 松前の暮らし～

(1) 安全・安心・快適な松前町をつくる

- ◇防災備品購入（投光器、発電機、倉庫、災害用トイレ）
- ◇避難行動要支援者名簿の管理システム導入
- ◇情報通信機器のシステム管理やセキュリティ対策
- ◇町内河川の水門など排水施設の量水標の更新
- ◇住民の暮らしの環境分析のための騒音計の更新



(2) 健やかでやさしい松前町をつくる

- ◇福祉センターの管理を社会福祉協議会に委託
- ◇北伊予小学校 放課後児童クラブ新築工事
- ◇ひとり親家庭医療助成
- ◇松前・宗意原統合保育所新築工事
- ◇乳幼児・児童医療費助成（中学生まで無料）
- ◇総合健診、がん検診、特定不妊治療一部助成

(3) 人と文化が輝く松前町をつくる

- ◇給食センター調理等業務委託、調理備品購入
- ◇公民館の耐震二次診断（北公民館、西公民館）
- ◇えひめ国体プレ大会準備（健康増進センター改修工事）
- ◇松前公園管理（指定管理委託、駐車場側溝改修工事）
- ◇小・中学校テレビ、教職員用パソコンを更新



(4) 豊かでにぎわいのある松前町をつくる

- ◇中・高校生の企画を取り入れた装い新たな義農祭
- ◇地場産業推進（愛媛松前町うまいものフェア、たわわ祭）
- ◇土地改良事業（徳丸揚水施設、緊急かんがい排水工事）
- ◇農業振興（農業施設の長寿命化、経営の安定、改善の助成）

(5) 飛躍を支える松前町の基盤をつくる

- ◇町民の協力のもと、地籍測量業務進む
- ◇町民の足、コミュニティバス運行支援
- ◇幹線道路整備（ラウンドアバウト計画）
- ◇災害時の緊急対応として自家発電機設置工事
- ◇「社会保障・税番号制度」に必要なシステム改修



ラウンドアバウト



(6) みんなで力を出し合う松前町をつくる

- ◇松前町まちづくり女性会議
- ◇おしゃれな松前推進

特別会計予算

水道事業会計

総額 7億8746万円

給水戸数 1万1087戸
年間給水量 318万2304m³
1日給水量 8719m³

国民健康保険特別会計

総額 39億6115万円

後期高齢者医療特別会計

総額 4億1943万円

公共下水道事業特別会計

総額 6億9713万円

介護保険特別会計

総額 26億7133万円

一部事務組合予算

総額 2億6561万円

分担金及び負担金 1億2529万円
(内松前町分 6105万円)

出身地別措置者数(平成28年3月現在)
松前町…19人 伊予市…15人
砥部町…3人 組合外…13人



リゾート気分で、食事を！

和楽園

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合

総額 1億8462万円

分担金及び負担金 1億7421万円
(内松前町分 8514万円)



24時間しっかり管理

塩美園

伊予市松前町共立衛生組合

総額 15億7673万円

分担金及び負担金 15億4822万円
(内松前町分 4億2118万円)



本番さながらの訓練

各消防署及び聖浄苑

伊予消防等事務組合

総額 5億5328万円

分担金及び負担金 3億9566万円
(内松前町分 1億5023万円)



耐震補強工事の実施

伊予地区清掃センター

伊予地区ごみ処理施設管理組合

予算決算

委員会
ニュース

会計当初予算
会計補正予算

おしやれな
まちづくりに向けて

問 「おしやれなまちづくり」の方針と、具体的な活動とは。

答 各種事業を実施する際に、おしやれ感覚を付加し、町内各所におしやれな空間やポイントをつくりだす。

若い世代に住んでみたいと思ってもらえるまちづくりを目指したい。

具体的には、まちづくり女性会議において議論をし、その意見をもとに「おしやれなまきさ審査委員会」で審査してもらう。

問 防災士養成講座の概要は。

答 若い人や女性の防災士の増大を目指し、独自に講座を開設する。

問 情報管理費における自家発電機設置の理由は。

答 電算室とサーバー室の機械と業務用パソコンを数台稼働させることにより、長時間の停電時でも業務を継続して行うことができるため。

問 町道西古泉筒井線道路整備事業にかかる現状差点の費用内容ならびに工事完了予定は。

答 平成28年度は、用地代と物件補償費を予算計上し、工事については、平成29年度完了を予定している。

問 災害時防災協力農地の契約期間は。

答 それぞれに契約期間はあるが、農地所有者から特に申し出がない限り、引き続いて更新となる。

問 町が実施している老朽化放置建物除去事業と国の特定空家の措置との関係は。

答 国の指針では、対象は町内全域となり、特定空家に指定されると最終的には強制的な撤去が可能となる。

問 しかし、町の要綱では、新立地区と本村地区を指定し、国の特定空家に該当する前に、関係者との協議によりスムーズに老朽化した放置建物を除去すること。

問 低所得者に対する給付金の対象は。

答 臨時福祉給付金は、住民税が非課税で、課税者の扶養に入っていない方が対象で、一人当たり3千円。年金生活者等支援給付金は、臨時福祉給付金対象者のうち、65歳以上の方や障害・遺族基礎年金受給者が対象で、一人当たり3万円である。

安心して下さい！
工事は順調に進んでいますよ。



町道西古泉筒井線道路整備



知恵と工夫で空き家活用を！

平成28年度
平成27年度

一般・特別
一般・特別

問 給食センター調理など業務委託の内容は。今後、保護者に対する対応は。

答 食材の購入、メニューは、今までどおり町が責任を持って行い、調理・運搬・洗浄のみを委託する。

委託について、3月中に保護者に文書で説明を行い、ホームページ



問 ジでも紹介する。学校営繕費の取り組み内容は。

答 優先順位により、今年度は小・中学校のテレビ、音響施設などの設備面の充実を行う。

今後、緊急に生じた修繕については、随時対応していく。

問 学校生活支援員の配置基準の内容は。

答 支援が必要な子どもについては、県総合教育センター特別支援教育室長や大学講師、医師などで構成する教育支援委員会が審議し、配置している。

子育て支援の充実 放課後児童クラブ拡充

問 公民館の耐震計画概要は。

答 平成28年度は、前年度に行った耐震診断で目標値を下回った西公民館と北公民館について、二次診断を、建替えなどが必要な場合は費用の見積もりを行う。

また、二次診断の結果を、町全体の公的施設整備計画に盛り込み、建替え、修繕などの対応を判断する。

問 災害時の医療用資機材の購入は。

答 包帯や絆創膏などの備蓄品は町が購入するが、原子力事故に備えたヨウ素剤などの医薬品については、医師または薬剤師がいないと購入、備蓄できないため、県へ要請し対応する。

問 放課後児童健全育成事業の状況は。

答 児童クラブの施設整備は、平成28年度は敷地が確保できた北伊予校区で実施する。松前校区は、宗意原保育所跡地を考えている。

岡田校区は、現在プレハブで実施しているが、候補地が見つかり次第、早急に整備を進めたい。

いずれにしても、小学校6年生までの受入れ開始となる平成31年度までに態勢を整える。

問 松前・宗意原統合保育所の建設場所を決めた理由は。

答 予定地は、津波の浸水地域でなく、また、交通の便を考慮し選択した。

問 中学生以下の医療費無料化に向けての取り組み状況は。

答 平成28年中に対象者の保険の種類の調査や、保護者への通知、受給者証の発行等を行い、平成29年からの実施に備える。



松前・宗意原統合保育所建設予定地

問 一般会計からの繰り出しと水道本管の未整備箇所の考え方は。

答 水道管を延ばしたい考えはあるが、末端における水質や水圧の管理、水道管の維持管理、また、現在、町内約98%の地区において水道が整備されていることを考えると、現状維持となる。

問 公共下水道整備に対して毎年、一般会計から多額の繰り出しを行っている。一方、未整備地区は浄化槽設置の補助を行っているものの、受益に差があるのではないかと。

答 公共下水道を整備した地区は、整備費の一部を受益者に負担してもらい、水質の保全に努めている。

公共下水道事業 特別会計

水道事業会計

予算決算

27年度補正予算

問 庁舎に設置する太陽光発電システム設置工事の減額理由は。

答 パネルや蓄電池について、産業用から一般家庭用に変更したことにより減額となったものである。なお蓄電容量、耐用年数、維持費は変わらない。



問 母子の健康検査委託料及び予防接種委託料の減額理由は。



答 予防接種をした人数が少なかったためである。対象者には文書等で通知を行なっているが、体調不良で受けなかった人もいると思われる。

意見

予防接種を受けない原因を分析し、接種者を増やしてほしい。

問 国体施設整備事業の繰越明許費の内容は。

答 一部未完成部分があるため繰り越すものがあり、5月末までには完成の予定である。

問 町道整備事業の繰越明許費が多額であり、件数も多い理由は。

意見

答 通常業務に加え、国体関連事業もあり、やむを得ず繰り越しをした。来年度完成に向けて鋭意努力する。

繰越事業には防災道路もあり、予算を計上したからには、その年度での完成を目指し、努力してほしい。

☆「繰越明許費」とは、年度内に支出が完了しない事業を議会の議決を得て予算を翌年度に繰越したもの。



完成間近のホッケー場
青い人工芝が映えます。

平成27年度 一般会計補正予算概要

■予算総額

(単位：円)

区 分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	98億5450万	7957万	99億3407万	0.8%
前年度	97億3169万	1億4909万	98億8078万	1.5%
前年度対比	101.3%	53.4%	100.5%	

■松前町一般会計補正予算（第5号）主要事業

(単位：円)

科 目	項 目	金 額
総 務 費	情報管理事業	2391万
	社会保障・税番号制度事務事業	518万
民 生 費	障がい者医療事業	211万
	自立支援給付事業	1836万
	国民健康保険特別会計繰出金事業	1944万
	保育委託事業	635万

総務

産業建設

行政手続きや書面に対して異議ある時は「行政不服審査法」で

⑦ 町長等の給与の特例に関する条例の改正

要旨

今回の条例改正は、町長、副町長教育長の給料月額を引き続き、10%減額するものだ。

平成17年度からの行政改革の一環として取り組んできたのだが、今後について続行すべきかどうか。

★審議の結果、来年度まで続行し、それ以降に元に戻すかどうか検討する。

(全員一致で可決)

⑧ 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

内容

◎ 不服申立ての審査請求が一本化した
◎ 審査請求期間が3ヶ月に延長された
◎ 審査員手続きを取り入れたこと

◎ 行政不服審査会に諮問できる手続きも取り入れた

審議

問 改正内容の詳細は法律の施行に伴って

答 行政不服審査に関係する6本の条例の軸の改正、条文の追加や改正という説明を受けた。

(全員一致で可決)

⑨ 松前町行政不服審査会条例

内容

◎ 審査請求時に町長の裁決の判断が適当かどうかを第三者機関に判断してもらおう手続きに伴う条例の制定

審議

問 審査の公平性をどう担保するのか

答 審査会の委員は有識者であり、専門分野から十分議論をした結果を尊重して裁決するので公平性は保たれる。

(全員一致で可決)

⑩ 松前町税条例等の一部を改正する条例

内容

◎ 納税者の負担軽減のため地方税の猶予制度などにつき条例を定める

・ 徴収金の分割納付方法は分割納入の方法

・ 申請手続き

・ 担保を不要とする時

◎ 減免申請書に記載する個人番号を省略する方針

審議

問 執行猶予の要件とは

答 風水害や火災などの災害にあった時、事業を休止している、著しい損失を受けた場合などの状況が把握できたとき。

問 猶予による徴収率低下が懸念されるが

答 相手の状況を踏まえた措置要件なので問題はない。

(全員一致で可決)

★土地改良事業の詳細は11頁の「その他」に記載

請願第1号

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める請願書

請願者

2016国民春闘

愛媛共闘会議

議長 今井 正夫

◎ 紹介議員 金澤 浩

村井慶太郎

【主旨】 労働者4人に二人がワーキングプアである。

誰もが安心して暮らせる社会の実現に向け中小企業への支援策を拡充し、労働者の最低賃金を千円以上に引き上げ賃金の地域間格差の縮小を図るよう国に意見書を求める。

審査

政府が地域間格差を縮小する施策を進めることは評価できる。

最低賃金の千円以上の引き上げは経営者側から考えると人件費の増額に伴い雇用の削減、海外への移転など懸念事項が生じてくる。地域により物価が異なるため一律にと

いうのは現実的でなく地域に応じて段階的に上げるべきだ。(不採択)

請願第2号

公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める請願

請願者

2016国民春闘

愛媛共闘会議

議長 今井 正夫

◎ 紹介議員 金澤 浩

主旨

公共事業や委託事業で極端な定額契約により労働者の賃金が低下したり、工事やサービスの質が下がったりすることがある。そのため、松前町に適切な賃金や労働条件を確保する公契約条例の制定を求める。

審査

町では最低制限価格を設定するなど適正に事務が実施されている。

業者や町民から苦情なども出ていない。

条例を制定すると履行の確認など事務が増えることにもなる。(不採択)

文教厚生

地域密着型サービス事業の条例一部改正

⑪ 松前町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の改正

要旨 介護保険法の一部が改正され、地域密着型サービスとして新たに「地域密着型通所介護」が創設されることに伴い、運営基準を規定するもの。

意見 事業所の状況を的確に把握し、公平公正な指導を。

問 条例改正により利用者などへの影響は。

答 サービス内容や、町負担の費用も変更はない。

問 新たな入所は松前町民のみとなる。

答 医師や大学教授、町民代表等から構成される「介護保険事業運営委員会」で判断する。

問 事業所への指導体制は。

答 定期的に実地指導を行う。

避難訓練は、最低年一回、消防署等と協力して、その結果を「運営推進会議」で評価する。

意見 事業所の状況を的確に把握し、公平公正な指導を。

情報公開を適切にしてほしい。

(全員一致で可決)

⑫ 松前町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の改正

要旨 厚生労働省令の一部が改正され、「介護予防認定

知症対応型通所介護」において新たな基準が設けられた。

同時に「運営推進会議」に関する規定等を追加するとともに、所要の改正を行うもの。

問 地域との連携や運営の透明性の確保は。

(全員一致で可決)



和やかで、きめ細かなサービス

答 「運営推進会議」において、区長、民生委員、介護相談員等、様々な立場の方に意見や助言をいただき、適正な運営に繋げる。

会議記録などは公表が義務付けられている。

問 地域との連携や運営の透明性の確保は。

(全員一致で可決)

最終日 給食センター調理等業務委託をめぐる議論

平成28年度松前町一般会計予算の採決で、給食センター調理等業務委託事業の継続審議をもとめ討論があった。結果、賛成多数で可決した。

反対

主な理由3点

賛成

① 保護者に対し、十分な説明がされていない

② 議会の予算議決前に、給食センター職員の人事が決定され、既に一部を

進行。退職が決定した職員までいることが質疑

の中で判明したこと。

③ 予算金額を含め、賛否を問える状態ではない。

加えて4月からの給食費値上がりについて、保護者に伝わっていない。

民間委託と値上げについて誤解がある。

よって、じっくり議論の上で、賛否をとるべきと考える。

以上により反対。

一方、行政経費の削減もできる。

以上により賛成。



報告事項

条例改正

専決第1号

松前町民グラウンドホッ

ケー場整備工事変更申請

負契約の締結

○目的

工事内容の変更に伴い、契約金額を増額する必要が生じたため変更請負契約を専決処分した。

○金額

1億7,388万円

1億7,704万円

9千円

○契約業者名

(株)二神組松前営業所

○変更の概要

人工芝の端部を固定するため、地先境界ブロックを新設し、人工芝及びゴムチップ塗装において透水性を図るため路盤材の変更を行った。

☆ 議員からこのようなことは設計段階でわかっていたのではないかという指摘があった。

● 人事院勧告及び愛媛県

人事委員会の勧告に伴

い改正を行う。

① 松前町職員の給与に

関する条例の改正

○改正内容

・給与

平均改定率0.4%引

上げ

・勤勉手当

支給月数を0.1月分

引上げ

(全員一致で可決)

② 松前町特別職の職員

の給与に関する条例の

改正

○改正内容

・期末手当

支給月数を0.05月

分引上げ

(全員一致で可決)

③ 松前町議会議員の議

員報酬及び費用弁償に

関する条例の改正

○改正内容

・期末手当

支給月数を0.05月

分引上げ

(全員一致で可決)

④ 地方公務員法及び地

方独立行政法人法の

一部を改正する法律の施

行に伴う関係条例の整

理に関する条例

・松前町人事行政の運営

等の状況の公表に関する

条例の一部改正など。

(全員一致で可決)

⑤ 職員の勤務時間、休

暇等に関する条例の改

正

○改正内容

・学校教育制度の多様化

及び弾力化を推進するた

め、小中一貫の「義務教

育学校」を新たな学校の

種類として規定したこと

に伴う改正

(全員一致で可決)

⑥ 松前町の非常勤の職

員の公務災害補償等に

関する条例の改正

○改正内容

・厚生年金に公務員及び

私学教職員も加入

・共済年金の公的年金と

しての部分の廃止

(全員一致で可決)

その他

● 組合規約の一部変更に伴い、議決を求めるもの。

②⑤ 伊予市松前町共立衛生組合規約の変更

○変更内容

・組合長は松前町長、副

組合長は伊予市長、会

計管理者は松前町会計

管理者とする。

(全員一致で可決)

②⑥ 伊予地区ごみ処理施設管理組合規約の変更

○変更内容

・組合長は伊予市長、副

組合長は松前町長、会

計管理者は伊予市会計

管理者とする

(全員一致で可決)

②⑦ 土地改良事業の施行

(かんがい排水)

地区名 徳丸

事業内容 揚水施設改修

(全員一致で可決)

◎追加議案

②⑧ 国民健康保険特別会

計補正予算(第4号)

C型肝炎の新型ワクチ

ンが保健適用になったた

め、6,739万7千円

を追加し、総額40億29

2万円となる。

(全員一致で可決)

人事案件

②⑨ 松前町副町長の選任

中矢副町長の任期満了

に伴う後任副町長の選任

について議会の同意を求

める。

升田 年紀氏(大溝)

の選任を全員一致で同意。

③⑩ 松前町

教育委員会

委員の任命

池内委員

の任期満了

に伴う後任

委員の任命

について議

会の同意を

求める。

郷田 智

成氏(大間)

の選任を全

員一致で同

意。



徳丸揚水施設改修現場
「きれいな水が出るように」

提出議案への各議員 賛否表

※ ○賛成 ●反対 –議長

議員名 請願・議案番号・議案名など		住田	田中	金澤	影岡	稲田	城村	村井	藤岡	加藤	八束	岡井	早瀬	三好	伊賀上
		英次	周作	浩	俊範	輝宏	トキ子	慶太郎	緑	博徳	正	馨一郎	武臣	勝利	明治
13	平成27年度松前町一般会計補正予算（第5号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	平成27年度松前町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	平成27年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成27年度松前町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成27年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	平成27年度松前町水道事業会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成28年度松前町一般会計予算について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成28年度松前町国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成28年度松前町後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成28年度松前町介護保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成28年度松前町公共下水道事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成28年度松前町水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	伊予市松前町共立衛生組合理約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	伊予地区ごみ処理施設管理組合理約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	土地改良事業の施行について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	平成27年度松前町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	副町長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	松前町教育委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



3 月 定 例 議 会

議員名			住田 英次	田中 周作	金澤 浩	影岡 俊範	稲田 輝宏	城村 トキ子	村井 慶太郎	藤岡 緑	加藤 博徳	八束 正	岡井 馨一郎	早瀬 武臣	三好 勝利	伊賀上 明治
請願・議案番号・議案名など																
請 1	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	不採択	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	-	●	○	●
請 2	公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める請願	不採択	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	-	●	○	●
1	松前町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
2	松前町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
3	松前町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
4	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
5	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
6	松前町の非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
7	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
8	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
9	松前町行政不服審査会条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
10	松前町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
11	松前町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
12	松前町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

4 議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

藤岡 緑 議員 (15ページ)

- ◆給食センターの民間委託でどんなメリットが
- ◆保育所問題の鍵は、慢性的保育士不足の解消では
- ◆学童保育の環境
- ◆生涯学習の推進は
- ◆防災士の活躍推進は

金澤 浩 議員 (16ページ)

- ◆学校給食の一部民営化は
- ◆J R 北伊予駅周辺の活性化
- ◆子どもの医療費無料化を早めに
- ◆原子力災害対策は
- ◆副町長二人制の今後は

影岡 俊範 議員 (17ページ)

- ◆公会計制度への取組と有用性をどう認識しているか
- ◆無料の学習支援を目的とした地域未来塾への取組は
- ◆2017えひめ国体のおもてなしは

村井 慶太郎 議員 (18ページ)

- ◆J R 北伊予駅周辺整備について

いっぱい
質問

町政を問う

- 一般質問とは…
- 議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。
- 議員一人あたりの発言時間は45分以内です。(理事者の答弁の時間は含まれません。)
- 登壇は、通告書(質問内容を要約した書類)の提出順に行われます。



配膳も手慣れてるね



おいしい時間は黙々（モグモグ）と



藤岡 緑 議員

給食センターの民間委託でどんなメリットが

安定的調理員の確保、一、一〇〇万円の経費減に

問

- ① 今までのレベルを下げずに、給食センターの民営化を進めるには住民への明確な説明が必要で、その試算とメリットを問う。
- ② また、給食で出る食べ残し（食品ロス）の取り扱い。

教育委員会事務局長

- ① 給食センターの業務のうち調理、配送、洗浄作業のみを民営化して食材の購入やメニュー作成などはこれまで通り町が担当。地産地消やアレルギー対応も責任もって推進。民営化のメリットは、安定的な調理員の確保が図れる。直営で正規職員7名を雇いした場合より、1,100万円の経費減に。ただ、給食費値上げ申請と重なり住民の不安につながった。今後しっかり説明をしたい。
- ② 食品ロスは、国平均の7分の1で、内1割を肥料に、残りは廃棄。今後検討していく。

保育所問題の鍵は、慢性的保育士不足の解消では

4月から保育士の配置基準の柔軟化で対応柔軟化

問

- ① 慢性的な保育士不足の状況にどう対処していくのか。
- ② 「子ども・子育て新制度」施行後、保育環境の低下につながっていないか。

保健福祉部長

- ① 来年度からの保育士の配置基準の柔軟化に沿って、幼稚園教諭や小学校教諭、養護教諭を一定の範囲内で保育士に代えて活用する。朝夕の児童が少なく時間帯に保育士資格を有しない者も配置できるように保育士不足の解消につながると考える。
- ② 新制度では、民間の保育所なども設備、運営に関する基準があり、質の低下にはならない。



心を込めて作っています。



金澤 浩 議員

学校給食の一部民営化は

保護者の方々へ、説明責任を果たす

問

民営化反対の立場で、問う。

効果を明記した資料を一般公開できるか。

④ 物資購入はPTAも含め、3か月毎に物資購入委員会を組織。

① 保護者の方々の反対の声を把握しているか。

教育委員会事務局長

① 事務局、給食センターとともに反対の声を把握していない。

② 保護者への説明責任は、果たしたか。

② 各小中のPTA会長には、当初からその都度説明している。

⑤ 昨年、議員全員協議会で説明した資料は、公開できる。

③ 民営化の是非を問うアンケートの実施は。

④ 食の安全に問題はないか。

⑤ 民間委託の費用対

JR北伊予駅周辺の活性化

自由通路を機に、駅中心の活性化に取り組む

問

① 一般論として、駅を中心とした地域活性化策は有効と思う。

① 同委員会を無視した推進は、出来ないのでは。

② 改選前の議会での、同委員会は、任期満了とともに自然消滅している。私は、同委員会での議論があったことを踏まえ、町全体のメリットになると、この施策を進める判断をした。

松前・岡田駅にも考えはあるのか。

また、調査の経緯から町民の納得が得られないと思うが、見解を。

② 自由通路推進のようだが、調査特別委員会から中間報告しか出ていない。

町長

① 今回は北伊予駅のみ。他の駅は今後の検討課題としたい。

① 同委員会は、任期満了とともに自然消滅している。私は、同委員会での議論があったことを踏まえ、町全体のメリットになると、この施策を進める判断をした。

地域未来塾について

全生徒を対象とした学習支援の事例

【東京都内のある中学校の取組】 ※学校支援地域本部を活用

＜放課後学習支援＞

- ・対象は中1～3の希望者
- ・年間約80回（学期中の週2回（2時間程度））
＊学校の空き教室を利用、無料
- ・指導員による個別指導と自習
＊指導員：教員志望の講師や大学生など



平成31年度までの支援目標数

H27年度
2,000 中学校区

H28年度
3,500 中学校区
新たに高校生を支援

H31年度
5,000 中学校区 (50%)
高校生支援 全国展開



影岡 俊範 議員

公会計制度への取組と有用性をどう認識しているか

長期的な財政運営に活用、町政に対する町民の理解を深める

問

- ① 地方創生の基礎となる公会計制度にどう取り組むのか。
- ② 人材育成、研修体制は
- ③ 新公会計制度への移行スケジュールは。
- ④ 現状での問題は。

財政課長

決算資料について、これまでの書類に加え統一

① 地方創生の基礎となる公会計制度にどう取り組むのか。

② 市町村アカデミー

③ 新公会計制度への移行スケジュールは。

④ 統一基準によるデータを網羅した台帳整備は膨大な事務量となる。

Ⅰ 従来の会計では見えにくい、コスト・ストックを把握することで中・長期的な財政運営への活用が期待される。

Ⅱ 町政に対する町民の理解を深めるだけでなく、財政情報は職員の

無料の学習支援を目的とした地域未来塾への取組は

中長期的に子供たちを支えるため、総合的調査研究を実施

問

「無料塾」は当町には、そぐわないとの回答。

今回の国の施策「地域未来塾」についての見解は。

教育長

文部科学省の施策の一つ、平成26～31年度にかけて、全国の約半数50

00の中学校区での実施を目指している。

当町では現在中学校で、放課後に個別指導をおこなったり、家庭との連携を図ったりしている。

地域未来塾は、運営本部の立ち上げ、人材の確保・経費と総合的に研究する必要がある。

すべての子供たちが、小中高と連続して豊かな教育を享受することが基本だと考える。

中長期的に子供たちを支えるためには、先進県・先進地域などの諸条件を十分調査する準備期間が必要で、それらを踏まえて判断してゆきたい。





目前なのに西側道路に行けない。



村井 慶太郎 議員

JR北伊予駅周辺整備について

将来を考えた事業化・遮断時間は調整できず

問

① 当初、県からの要望

だったものが、松前町単独でやる事業へと変わった経緯が、調査特別委員会で出てきている。

今回の事業化は、周辺部落や一部の議員の要望があるから行うのか。

② 自由通路もいいが、松前町には踏切が、四か所ある。(中川原・出作・神崎・横田) この周辺住民も困っている。

JR四国に対して、踏切遮断時間の短縮調整を依頼できないか。

町長

① 特定の方々の要望による事業化ではない。

JR北伊予駅は駅の東側に駅舎があり、駅の西側の地域から北伊

予駅を利用するためには、駅から300メー

トルほど離れた踏切まで迂回しなければなら

ない。また、車両基地などの移転に伴い、回

送列車や貨物列車の便数が増加する。

よって、踏切遮断時間が大幅に増加することから、予讃線による

地域分断の解消、将来の北伊予駅周辺のにぎ

わい創出のためには、どうしても自由通路の整備が必要だと判断した。

② JR東日本やJR西

日本などの都市部では、遮断時間の調整が行える踏切の導入が始まっているようだ。

しかし、JR四国の現システムでは遮断時間の調整はできない、とのことだ。

今後、愛媛県を通じて、遮断時間の調整が行えるシステムの研究開発を行うよう、JR

四国に要望していく。

松前町議会だより No.89

18

研修報告

議会運営委員会

1月27日～1月28日

1日目

研修地

佐賀県基山町

人口約1万7500人

世帯数約6500世帯

面積約22km²

JR鹿児島本線、九州

自動車道が通るなど交通の要として発展

●研修目的

議会活性化の取組

●研修内容

町長が「まちづくり条例」を作ったのをきっかけに議会としても活性化に取り組んでいる。

① 住民アンケートを実施しその意見を

「すぐ取り組む事項」

「早急に実施する事項」

「今後検討する事項」

「今後の検討課題」

の4つに分けて取り組んでいる。



⑤ 情報の共有・理事者の報告等、全員協議会を月1回開催

●所感

② 議会報告会や意見交換会を積極的に行っている。

③ 一般質問は2日間かけて全員が行っている。「議員の資質向上、予定時間1時間」

④ 傍聴者が来やすいように土・日議会開催

議会改革に向けた取り組み項目を分け、すぐ出来るものから取り組んでいく。また、全員協議会の月1回の開催、一般質問や議員報告会なども今後の検討課題であると感じた。

2日目

●研修地

佐賀県白石町

人口約2万4400人

世帯数約7700世帯

面積約100km²

面積の約90%を占める

広大な平野は、開拓事業で造成された土地で、小麦、野菜、施設園芸などの農業適地である

●研修目的

議会基本条例ほか

●研修内容

① 基本条例制定

策定までに22回の委員会を開催し2年半の歳月を要した。研修会や先進地視察など全議員の意識の統一、共通認識を行った。全員協議会を月1回定例化し、理事者側の報告と議会活性化に向けた議論を行っている

② 出前講座

4班に分けて議員4人編成で資料作りから運営まで議員が行う。(年6回前後)



派 かいでいます。

③ 本会議中心

会期中は委員会を開催せず、休会中の活動として所管の調査研究を中心に行っている。

●所感

研修や先進地視察など積極的に行い全議員の意識の統一、共通認識の重要性を感じた。

●今後の課題、検討事項

全員協議会、議会報告会や一般質問などの検討や議会活性化のための基本条例の検討もする。

議会に対する住民の関心を高めるため、全議員が汗をかき、力量を上げることで議会活性化へつなげる努力をする。

逆研修!

香川県から広報発行町議会連絡協議会の一行（8町）が松前町の広報委員会へ研修に来られた。



2月15日香川県から町の広報委員の皆さんが、大型バス2台で遠路はるばる松前町までやって来られた。お迎えする私たちもこの日のために今までの松前町議会だよりの歴史や積み重ねてきたノウハウをパワーポイントにまとめた。

●特に原稿を書く時、編集から発行へ至る時写真撮る時の注意点色使い、ページレイアウトなど松前町議会だより編集規則に沿ってわかり易く説明した。

●私たちがまだまだ研鑽中であることを踏まえながら、事前に頂いていた各町村の議会だよりから、気づいた点を、指摘させてもらい今後の参考にしてもらうよう結んだ。

●最後に残り時間を使って、いろいろな質問を受けた。予定の2時間半はあつという間に終わってしまった。

皆さんの広報紙に対する熱心な取り組みに対して、私たちとしても大いに学ぶべきところがあった。こういう機会をくださったことに感謝している。

●今後は全国コンテスト上位入賞を目指して切磋琢磨していこうと誓い合った。



次々に、熱い思いを感じる質問が!

★来庁した8町は、綾川町、宇多津町、小豆島町、土庄町、まんのう町、三木町、琴平町、直島町で総勢55名の方々の参加だった。

他に上島町議会の方々

と愛媛県の町村議長会からも3名の参加があった。



広報委員全員でおもてなし



ただ9月には実際にプレ国体が始まる競技会もある中で専門委員会の開催時期が重なることへの指摘もあった。今後調整していくとのことだった。

開催準備にかかる来年度の経費や取り組みについて各分野の専門委員会の審議内容についての説明もあった。

国体実行委員会より

町民の声

希望の創生

昌農内 中田 修慈

この時期になると思い出すのが、故郷の愛南町の風景である。

学生だった私は、休日になると自分の部屋に寝っ転がって、周り一面の紫色のレンゲ草でいっぱい田んぼと、青い空を眺めていたものであった。

天高く雲雀(ひばり)の鳴き声がかきこえてくる。暫くすると鳴き声が止

み田んぼに急降下・・・。

そんな情景を眺めながら春の日差しの中、日向ぼっこをするのが大好きであった。

現在の私の家のすぐ近くに、大型ショッピングモールができてからもう十年たっただろうか。

エミフル松前とは、よく名付けたものだ。

このショッピングモ

ル計画時、水族館も入れる構想もあったそうだ。

その後計画はどうなったのだろうか。

おそらく、どこかで断ち切れたのだろう。

松前町は南予に比べると松山に近く、少子高齢

化の問題は比較的恵まれているようだ。

しかし、日本国中この人口減少問題に無関係な

地域は存在しない。

最近、仕事の関係から、南予の高校で地方創生に

携わる機会があった。

そこで、感じたことは、

その地域に住み愛着を

持つて守り支えてこられた人々と、そこで育ちゆ

く健全で斬新なアイディアを持った若者のコラボ

レーションで「希望の創生」を醸成することが大切なのではないかという

ことであった。



傍聴席

何人も襟を正し

議場へ

池内 直人

傍聴券を手に入れた議場2階の傍聴席に入ると、凛とした空気が流れる。何度きても身の引き締まる思いである。議員13名の背中を見ながら前に目を向けると、議長を中心に理事者がこちらを向いて

座っている。隅々まですべてがよく見える。この雰囲気は、自宅のパソコンでライブ中継を視聴することでは味わうことができないものである。

今日の一般質問の内容はさておいて、私が普段から感じている議員の品格とは何か、どのような議員を望んでいるのか。ただ、言えることは、以下のとおり。議員が粛々と質問し、理事者がたん

たとと答えること。こういった光景を決して望んではない。時には小さな野次もあるだろう。大いに激論もいと思う。

しかし、内容ではなく、最終的には人対人、グループ間の争いである。争うことが町のためになるのなら大いに結構。だけど、場所と言葉ぐらいいは選ぶべきである。

見苦しい議員同士の潰し合いはやめにして、14名の議員がいろいろな立場から税金がいかに無駄なく、効率的に、公正に使用されているか、これをチェックし精査することに力を注ぎこんでほしい。そして我々も、選んだ14名の議員は町のためになっているのか、これで良かったのか、一人ひとりが積極的に傍聴することとが義務であると思う。

「町民の声」をお寄せ下さい

ご意見・ご要望などをお寄せください。

次号議会だよりの掲載の締切りは5月末です。

投書多数の場合は、委員会掲載文を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

【宛先】

松前町筒井631
議会広報常任委員会
「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail :
500gikai@town.masaki.ehime.jp

300字程度で必ずお名前・ご住所・ご連絡先(ペンネーム(希望する場合))をお書きください。

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

議会は、本会議と各

常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

(次回は6月中旬からの予定です。)



本会議は、町ホームページでライブ中継を行っています。また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。



松前町で生きる & みんなで支える

『ピカッ！と一年生』

表紙の入学式参列の親子にインタビュー

松前小学校入学式

- Q** 入学式を終えて今の気持ちは？
特に苦労したことや心配したことは？
- A** やっと小学生という感じです。一才頃からぜんそくの症状が出て季節の変わり目ごとに発作をおこしていました。最近ではPM2.5や花粉症など様々なアレルギー症状が増えているので心配です。
- Q** 学校教育現場や町行政に望むことは？
- A** 近々、医療費控除の年齢が拡大されるということなので期待しています。
- ぜんそくの治療など定期的に病院に通っているの
でありがたいです。
- 松前校区には児童館がないので、小学生だけで遊
べる施設がほしいです。
- Q** どんな学校生活を送ってほしいですか？
- A** 元気に楽しく過ごしていければいいです。私は地
元出身ですが、結婚後、松山に住んで二年前にこちらに
帰ってきました。莉愛はまだ松前町のお友達が
少ないので小学校でたくさんのお友達をつくってほ
うです。



今年の松前小の新入生は、4クラス・119名
早く学校に慣れて、友達をたくさん作って
ね。ピカピカの1年生にエールを！



まちの話題

中学校バスケットが熱い！

3月19日から21日にか
けて中学校バスケット
ボール中予大会が開催さ
れた。

女子は、北伊予中が優勝、

岡田中が第4位、男子は

松前中が第3位と、松山

市内の強豪校を相手に、

見事な成績を残した。

特に女子の北伊予中と

岡田中は、小学校のミニ

バスケット時代から、し

のぎを削り切磋琢磨し

て、常に優秀な成績を収

めてきた。

順調に成長しており今
後が楽しみ。

中学校最後の県総体で
優勝し、全国中学総体出

場も決して夢ではない。

しかしながら、県総体

に出場できるのは、伊予

郡で1チーム。どちらが

勝っても県総体で優勝で

きる力を持っている。

3年生は最後の総体ま

であと僅か。残された期

間に、技を磨き、リーダー

シップを発揮して下級生

を指導しながら、チーム

の組織力強化を図って、

悔いを残さない試合で中

学バスケットを締めくくっ

てもらいたい。

そして応援している保

護者・観客を魅了・感動

する、レベルの高い、**熱**

熱い闘いを期待する。

田中 周作



この広報紙は、資源保
護と環境に配慮して大
豆油インキ、再生紙で
作成しています。

議会広報常任委員会
委員長 八束 正
副委員長 藤岡 緑
委員 稲田 輝宏
委員 影岡 俊範
委員 金澤 浩
委員 田中 周作
委員 住田 英次

★只今、新人議員は、党派を超え、町民目線で考え行動できる議員を目指し、まい進中！
(金澤 浩)

★新体制になって岡本町政が走り出した。人口問題、子育て支援、医療介護問題など、国や県から町に求められる要求と、町民要求とのギャップを調整する能力が、より強く求められる。

編集後記

